



<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>



下関市長の部屋

検索

地震への備えをお忘れなく 平成28年熊本地震への対応



んには。市長の中尾友昭です。熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

相次ぐ地震により甚大な被害があり、各自治体でも、被災者支援に取り組んでいます。下関市内では、屋根瓦の落下、ブロック塀の倒壊などの被害が発生しましたが、人的被害はありませんでした。

4月16日の早朝には、本市消防局から11隊49人が緊急消防援助隊山口県大隊として出動し、南阿蘇村での救助活動に従事しました。

職員派遣については、給水支援のため給水タンク車と職員、保健師、建物などの応急危険度判定士、そのほか現地で事務従事する職員を派遣しています。

被災地からの避難者の方に提供するため、市営住宅10戸を用意しています。市内に「下関市熊本地震被災者支援連絡会議」を立ち上げ、被災者支援の各種相談に対応するため「被災者支援相談窓口」を開設しています。

今後、本市で大きな地震が発生したときに備えて、次のことを心掛けて対応してください。①地震

が発生したら、むやみに屋外へ飛び出さず、机やテーブルの下にもぐり、揺れが収まるまでは身の安全を確保すること。②コンロやストーブの火の始末、家族の安全確認は、揺れが収まって行うこと。③テレビやラジオを付け、災害情報を収集し、引き続き発生する余震に備えること。④自分の身に危険を感じたら、近くの広場や指定緊急避難場所となっている公園、学校のグラウンドに避難すること。大きな災害が発生しても慌てずに落ち着いた行動が大切です。日頃から災害への理解を深め、あらかじめ避難場所の確認、非常持出袋の用意、家具の転倒防止器具の設置など、いつ起きるか分からない地震などの災害に備えてください。防災情報を携帯電話やパソコンに無料で配信する「下関市防災メール」サービスもあります。(7ページ参照)

古い木造住宅は旧耐震基準のため、大地震の際に倒壊の恐れがあります。市では、自宅の無料耐震診断、耐震改修費用の一部を補助します。(市報5月号19ページ参照)耐震性の確認は、地震から身を守る第一歩です。



大きな災害が発生しても慌てずに落ち着いた行動が大切です。日頃から災害への理解を深め、あらかじめ避難場所の確認、非常持出袋の用意、家具の転倒防止器具の設置など、いつ起きるか分からない地震などの災害に備えてください。防災情報を携帯電話やパソコンに無料で配信する「下関市防災メール」サービスもあります。(7ページ参照)



長府毛利家蔵
下関市立歴史博物館寄託

今月は、初代長府藩主である毛利秀元の画像です。秀元が亡くなって約1年後に、2代藩主の毛利光広の依頼で、狩野探幽が描きました。

狩野探幽は、京都の二条城の障壁画なども手がけた江戸時代初期を代表する絵師です。

秀元は、戦国大名毛利元就の孫にあたります。豊臣秀吉は、幼い秀元と対面した際、「いづれ立派な人物になるであろう」と述べて、大きな期待を寄せています。秀元の秀は、元服(昔の成人の儀式)にあたって秀吉から与えられたものです。

関ヶ原の戦いや大坂の陣で活躍した秀元は、文人としても一目置かれ、特に茶の湯に精通していました。徳川3代将軍家光は、風流の道に通じた秀元に品川の將軍別邸や江戸城での茶会開催を命じています。品川で開催された茶会は、家光在任中、最も盛大なものとなり、秀元はその功績で麻布日ヶ窪に屋敷を与えられました。現在、同地にある六本木ヒルズの毛利庭園は、これに由来するものです。

本年3月、この画像などを参考として、長府毛利邸に秀元の銅像が建立されました。博物館で画像を展示した際には、銅像と併せて見てください。



行って! 学んで! 博物館!

もうりひでもと
毛利秀元画像



長府毛利邸に設置された毛利秀元の銅像